

# 令和4年度 第49回沼津市芸術祭 書道展審査結果報告

## ◇ 書道展

	点数
審査員作品	3点
招待作品	6点
委嘱作品	14点
無鑑査作品	6点
一般公募作品	43点
一般公募(高校生)	12点
合計	84点

◇ 審査日 令和4年10月4日(火)

◇ 審査員 和田孝之 池谷天外 西川万里

市長賞1点、市議会議長賞1点、教育長賞1点、奨励賞6点、新鋭賞2点  
 本年は高校生から14点の出品があり、2点が新鋭賞として入賞した。

	題 名	氏 名	住所等
市長賞	殷遙詩	貴家 琴乃	伊豆の国市中
市議会議長賞	放(はなす)	栗原 洋子	沼津市松沢町
教育長賞	谷川俊太郎の詩	長坂 天真	沼津市大諏訪
奨励賞	劉滄詩	岩崎 華倫	沼津市原
奨励賞	万葉集より	戸田 凧子	沼津市下香貫前原
奨励賞	だるまさんがころんだ	長野 佳子	沼津市杉崎町
奨励賞	大橋南郭詩	平野 香苑	沼津市岡宮
奨励賞	望(のぞみ)	細金 春風	沼津市日の出町
奨励賞	鳴く	三好 秀琴	駿東郡清水町長沢
新鋭賞	臨 王羲之豹奴帖	勝又 穂果	市立沼津高等学校2年
新鋭賞	臨 曹全碑	日吉 梨乃	県立沼津西高等学校2年

### 総評

コロナ禍での展覧会の中止もあり、今回公募の出品数が減少したのは残念であった。出品作品はみな熱意あふれるものが多く、受賞作の選出には苦労した。

漢字は練度の高い作が多く、その中でも章法(作品構成)や線質のしっかりした作品を選んだ。漢字仮名交じりの書(調和体、近代詩文書)は多様な表現がなされ楽しめたが、独自性があり作品感の高い作が受賞した。少字数書は字形や線質が工夫されていたが、表現が似たものが多かった。

書には多様なジャンルがあり、その表現の違いを楽しむことが鑑賞の醍醐味の一つである。

次回展には、仮名や前衛書、篆刻なども積極的に出品していただきたい。

### 審査短評

#### 市長賞 『殷遙詩』

五言律詩を瑞々しい筆致で、一気呵成に書ききっている。章法に工夫を凝らし、文字の大小が緊張した空間を生み出している。

#### 市議会議長賞 『放(はなす)』

大胆な構成と深い線質が魅力である。旁を極端に小さくして広大な空間を生み出し、印によってそこに緊張感を与えている。斬新な発想が良い。

#### 教育長賞 『谷川俊太郎の詩』

漢字と仮名を柔らかい線質で調和させてのびやかにまとめている。温かみのある表現で、親近感を感じられる作である。